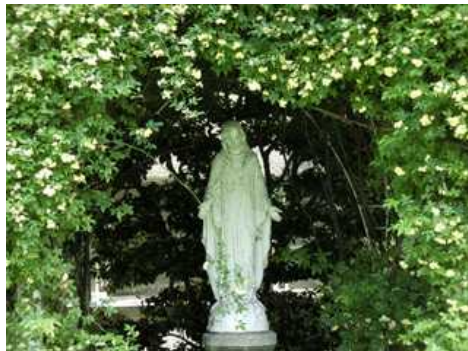


マリア様はゲームチェンジャー？

校長 Sr.大山 江理子



初等科は新学年を順調に滑り出し、各学年で遠足も楽しく実施することができました。5月のマリア様の月を迎え、マリア様に倣い、プラクティスを心にとめながらの生活が始まります。

ゲームチェンジャーはスポーツの世界で試合の流れを変える人です。そこから進んで、ものごとの流れを変える人や出来事もゲームチェンジャーと呼ばれます。それならマリア様もその一人です。マリア様はスポーツをしなかったでしょう。しかし、マリア様は人間と神様の関わりの流れを大きく変えました。どのようにして？それは神様に「はい」と心から答えることによってです。何か大きな行動を起こしたわけではありません。しかし、この「はい」が神様と人間の関わりを変え、世界を大きく変えました。

旧約聖書の中には他にもゲームチェンジャーの女性たちがいます。たとえば、ユディトやエステル。この女性たちはイスラエルの危機に、賢明さと勇気によって国を救います。絶体絶命の状況でも、神様への信頼を見失いませんでした。ナオミという女性もいます。ナオミはイスラエルの人ではなく、他の神を信じる民族から嫁いできた女性でしたが、誠実に生き、他国の人を大切に受け入れるイスラエルの伝統を形作る拠り所の一つとなっていました。

これらの女性に共通する点は何でしょうか。どのような状況でも神様を見つめ続けたということです。神様のゲームチェンジャーたちはごく平凡な日常的な生活の中でも、大きな困難の中でも、神様が変わらずに人間と共にいてくださることを忘れませんでした。

今でも、神様は変わらずに私たちと共にいてくださいます。今の世界の状況の中で、神様はなぜ沈黙しているのか、と考える人もいるかもしれません。この女性たちは私たちに問いかけます。「聞いてごらん下さい。神様の呼びかけは今も聞こえるはずですよ。耳を傾けてごらん下さい。聞き取り、応えるかどうかはあなた自身にかかっています。」今、ここで必要なこと、大事なこと、それらを感じ取り、行動する。それがゲームチェンジャーです。小さなことから始まります。



「ハトが翼を広げて平和を求める」
 ウクライナの画家 マリア・プリマチェンコ

5月の行事予定

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 2日(月) 遠足(6年) | 19日(木) 運動会総練習 |
| 3日(火) 憲法記念日 | 23日(月) 運動会総練習予備日 |
| 4日(水) みどりの日 | 25日(水) 聖マグダレナ・ソフィア祝日 |
| 5日(木) こどもの日 | お祈り会 |
| 6日(金) 1年生を迎える会(1限) | 27日(金) 運動会準備 |
| 9日(月) 1年・転入・編入保護者会 | 28日(土) 運動会 |
| 10日(火) 尿検査2次・運動会全体練習 | 29日(日) (雨天予備日) 主の昇天 |
| 11日(水) 運動会全体練習予備日 | 30日(月) (雨天予備日) |
| 母の会代表幹事会 | 運動会代休 |
| 17日(火) 尿検査2次予備日 | 31日(火) 聖母戴冠式朝礼 |



喜びを言葉にかえて

副校長 中塩 百合

合同保護者会にご出席いただき、ありがとうございました。保護者の皆様とお目にかかるのは何か月ぶりかしらと思ひながら、お話できる喜びを感じておりました。保護者の皆様同士も久しぶりの再会に笑顔が溢れ、顔を合わせて集うことの意味を改めて感じます。今年度は、様々な行事を保護者の皆様にご覧いただけるよう、準備を進めてまいります。

先週、今週は3年ぶりの「春の遠足」でした。外に出向いての遠足に、前日から子どもたちはお天気を心配したり、バス内でのレクリエーションを楽しみたいと準備に余念がなかったりと高揚感の中で過ごしていました。バスは32人までは1台、40人を超える高学年は2台のバスに分乗し、1年生は砧公園で思い切り身体を動かし、2年生は東高根森林公園、3・5年生はこどもの国でオリエンテーリング、4年生は東京湾で水上バス、そして6年生は葛西臨海公園近くの砂浜で楽しいひと時を過ごしました。地図が巧く読めず、オリエンテーリングのポイントをほとんど回れなかったグループもありましたが、それも楽しい思い出であり次につながる良き経験です。友だちと自然の中で伸び伸びと過ごす時間は「神様からの大きなプレゼント」、そんな言葉が子どもたちの中からも聞こえてきました。

5月末には運動会、続いて6月には5年生の清里への校外学習もあります。是非実施できるようにお祈りください。子どもたちにとって教室内での落ち着いた学習と共に、五感をフルに使って本物に触れる体験の機会は成長のチャンスです。準備の段階から、子どもたちができるだけ主体的に企画や運営に加わり、自分たちの行事として精一杯取り組み、充実感や達成感を得てほしいと考えます。体験活動は、友だちと協働することの大切さを実感し、リーダーシップの力も育みます。自分の行動が自らの楽しさに留まらず、友だちの喜びへと広がることも期待したいと思います。

体験活動の後には書く活動もします。楽しかった出来事を振り返り言葉にすることで、体験がより味わい深いものになっていきます。その時感じた楽しさや新たな発見は、時間が過ぎると忘れ去られてしまうことがあります。文章に残すことで、自分の発見や感覚を確かな認識にしていくことができます。一番心に残った瞬間を、どう切り取りどんな言葉で表現していくのでしょうか。それも楽しみです。



マリア様の月のプラクティス

耳をかたむけ、心をつなぐ

